

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・よほど天候不順にならない限り、今の状態が続く。ゴールデンウィークの前半も良い成績が出ている。また、来年大きな祭りがあり、各地区でその準備も始まり、人の動きが活発になっている。
		コンビニ（経営者）	・夏に向かい、イベントや夏休みの学生、一般客の外出も増えるうえ、店舗が街道立地のため街道往来する客が増える。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・大河ドラマの話題が取り上げられるに従い、ムードが盛り上がりつつある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・5～6月も物件等の見込が出てきており、これから少しずつ良くなっていくのではないかと思う。
		百貨店（店長）	・今後大型施設が近隣に移転してくる計画があるので、やや良くなる。
		スーパー（店長）	・北陸新幹線の延伸開通と名刹のご開帳という好条件は2～3か月すれば落ち着くと思うが、新しいマーケットができつつあることは確かである。
		コンビニ（経営者）	・これから気温が上昇すると、コンビニエンスストアは、1番活況を呈する時期に差し掛かるので、期待を込めて、やや良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・これから夏～秋にかけては段々良くなる可能性のある時期であるが、客の状況は大変厳しい。必要に迫られないと買わない、というのが今の客の心理なのではないか。
		衣料品専門店（販売担当）	・4月からの値上がりにより統一地方選挙もあり、我々の業界にとっては、ダブルパンチの状況だったが、これが落ち着いてこれから暖かくなれば、期待感も込めて、財布のひもが若干ゆるむのではないかと思う。客との会話の中でもそんな感じを受けるので、あくまでも期待感をもっての話だが、幾分良くなって行くのかなという風に受け取っている。
		家電量販店（店長）	・ここ最近の天候や長期予報の発表から気温の上昇が予測されているため、季節商材を中心にボーナス商戦は良くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車や追加車種及び特別仕様車の発売が予定されているため、やや良くなる。
		乗用車販売店（統括）	・新型車の発売があるため、やや良くなる。
		自動車備品販売店（経営者）	・ここに来て3～4月の動きが停滞していた反動で、客の動きも出てくるとの期待とボーナスや暑さによる需要が見込めるので、今よりはやや販売量も増える。
		住関連専門店（経営者）	・政府の打ち出す政策が、地方にも徐々に波及し始めてきているようである。商品動向をみると買上点数が徐々に上昇してきているのはその事に起因していると考えられる。
		住関連専門店（仕入担当）	・4月後半より天候が安定し、ゴールデンウィーク後半を中心に来客数は少し持ち直すという期待感がある。
		一般レストラン（経営者）	・近年、土日祝日に来店する客の半数が県外客で、インターネット、ホームページによる特色のあるメニュー作りの効果が多少表れてきている。
		一般レストラン（経営者）	・「一部景気が良い」の、一部にあたる部分が若干広がってきているようである。
		スナック（経営者）	・客と話をしても、不景気だという声は以前と比べて大分減っている。間違いなく良い方向に向かっている。
		観光型ホテル（経営者）	・実際にはよく分からないが、希望としては良くなって欲しい。
		観光型旅館（経営者）	・昨年の秋から景気回復の影響が関東方面からの集客が比較的良くなっている。冬季は道路が凍結するため、県外からの需要は大きく減るが、これからの季節は再び県外からの集客が微増傾向にある。
		旅行代理店（所長）	・一般観光客の堅調な伸びに加え、式年イベント、教育旅行スタートも重なり、伸びが期待できる。
		旅行代理店（営業担当）	・5～7月にかけて気候も良くなり、団体旅行の需要が増え、販売量が増加する。
テーマパーク（職員）	・温暖な天候が続くと予報されており、名刹の式年祭などの影響から客の増加が予想される。		
観光名所（職員）	・近隣の企業も好況に転じているようで、働き口が増えている様子である。そのためパート、アルバイト従業員が簡単には集まらなくなっている。		
ゴルフ場（総務部長）	・5月の予約状況は、前年並みに入っている。		
変わらない	商店街（代表者）	・イベントを開催すれば、その時のみ来街者は増すが、普段は人が来ないので、今までと全く変わらない。	
	商店街（代表者）	・若い世代の家庭に、物価上昇の影響が表れているようで生活の潤いが減っている。ゴールデンウィークの使い方も慎重である。	

一般小売店〔家電〕 (経営者)	・夏商戦に向けて客の購入意欲を起こさせたいが、これといった商品も見当たらず売上増に結びつく要因がない。客の購買意欲が出ない限り先行きは厳しい。
一般小売店〔乳業〕 (経営者)	・地方の末端の消費意欲は変わらず、冷え込んだままである。
一般小売店〔青果〕 (店長)	・景気は全体的に日本としては良くなっているかもしれないが、地元の大企業の工場があまりぱっとしておらず、当方もあまり良くなっているようには感じられない。個人的には倒産した店から納品先をもらい、若干の伸びはあるが、現状の納品先や店の売上はほとんど伸びない。
百貨店(営業担当)	・ボーナスは若干プラスで出ると思うが、消費については自己防衛的にまだ慎重な行動を取るとみている。
百貨店(営業担当)	・インバウンド消費のような当地区外の買物客がほとんどなく、現状の枠組みの中での商売を引き続き行うため、大きく変わる要因は見当たらない。
百貨店(販売促進担当)	・大手企業のベースアップや日経平均株価2万円超え等、明るい報道が目立つが、地方都市では消費を押し上げる材料がなく、厳しい状況は継続する。
百貨店(店長)	・消費税増税後の回復が遅い。地場産業では賃上げする企業は多くない。
百貨店(副店長)	・インバウンドの好影響がある都心はともかく、地方の疲弊は深刻である。当地は人口が微増し、さまざまな開発物件が進行中で比較的活力を感じるが、売上は苦戦を強いられている。夏にプレミアム付商品券が発売されるので、その効果に期待したいが、ぜいたく品の購入など思い切った使い方がなされず生活必需品を少額ずつ購入するようなことになるのでは、と懸念している。
スーパー(経営者)	・景気回復は地方に波及していない。
スーパー(総務担当)	・4月は前年の売上に対して大きく伸びるはずが伸び率が小さかったのも、景気が良くなるとは思えない。
スーパー(商品部担当)	・ここ数か月の流れを見ていると、大きな変化があるように感じられず、単価上昇により売上を維持していく状態が続くそうである。
コンビニ(経営者)	・隣にできたファミリーレストランも今後はそれほど客数が増えるようには思わない。したがって、現在の売上も変わらないのではないかなと思う。
コンビニ(経営者)	・客数が戻らない限り、良くならない。
コンビニ(経営者)	・悪くはないが、若干の上向き感で進んでいく。
コンビニ(店長)	・開店閉店の動きも落ち着き、工事も終わったので、これからはあまり変化がない。
衣料品専門店(店長)	・輸入商品の仕入価格上昇が、商品単価を引き上げており、客の価格に対する感覚がよりシビアになっている。
乗用車販売店(経営者)	・当地域の自動車メーカーの輸出、殊に北米への輸出が現状維持できればこの状態が続くと思う。ただ、経済政策が大企業中心で進んだときには、私たち中小零細企業はどうなってしまうのか心配である。
乗用車販売店(経営者)	・エコカー減税の縮小、軽自動車税の増税など、自動車販売に明るい話題は少ない。
乗用車販売店(営業担当)	・自動車の保有台数増加に期待が持てない現在、いろいろな付加価値を見直しての販売が続くそうである。
乗用車販売店(販売担当)	・これから良くなる要素が見当たらない。消費税関係も、補助金関係も変わらないし、これから良くなるはずがないので変わらない。
乗用車販売店(販売担当)	・良くなる要素が出てきていない。近隣に観光地があるが、放射線の話は随分下火にはなったものの、観光客はまだ完全には戻ってきていないので、ホテル関係もあまり車の購買意欲はないようである。隣の市で大型倒産のうわさが出ており、その影響もあって、ここ2~3か月先、良くなる要素が全くない。とにかく頑張るやるほかに、ガソリンスタンドと催し物をやっているが、今のところ良くなる要素がない。
住関連専門店(店長)	・身の回りで、賃金が増えるという話はあまり聞いておらず、買物に慎重な状態は変わらないのではないかな。近くに競合店が出店する予定もあり、より競争が厳しくなるかもしれない。
一般レストラン(経営者)	・地方創生ということで、いろいろとやっているようだが、具体的な結果はなかなか地方には表れないので、それほど景気は変わらない。

一般レストラン（経営者）	・外食業界では円安による原料費の高騰が相変わらずだが、価格へ転嫁しても客は納得しており、支払能力はあるようである。人件費の上昇によりコストが増してきており、コスト増加分以上の成長がないと景気が急減速することもあり得る。	
スナック（経営者）	・現状の悪いまま、変わらない。地方には、アベノミクスが全然届いていないと感じている。何か良い方法を教えてほしい。	
都市型ホテル（スタッフ）	・名刹のご開帳も5月末日までとなっている。その後については、北陸新幹線の客がどれだけ長野に立ち寄るかが不明なので、なんとも言えないが大変である。	
都市型ホテル（スタッフ）	・直近1か月、客単価は横ばいで来客数は前年比微増している。今後2～3か月先は客単価微増、来客数微減予想のため、変わらない。	
都市型ホテル（副支配人）	・前年は特需的な予約が多く、夏場にかけて好調に推移していたが、今年はインバウンド以外の団体予約が悪く、売上自体は良くて前年並みとなる見込みである。	
旅行代理店（副支店長）	・国内、海外ともに受注は順調といえるが、大きな変化はなく例年並みとなりそうである。北陸新幹線延伸に伴い金沢、北陸方面が順調に伸びているが、景気とは関係はなさそうである。また、インバウンドによる宿泊施設の需要が高まり、仕入れが困難な状況である。特に都市部は集中しており、今後も仕入に大きく影響が出ることを懸念している。	
タクシー運転手	・4月は前年比103%くらいだが、その月によって動きは違うので何とも言えない。	
タクシー（経営者）	・4月は少し良かったが、2～3月が悪かったのでこの先も変わらない。	
タクシー（役員）	・製造業と建設業のみ景気が良いが、サービス業まで恩恵が来るまでにはまだまだ時間がかかる。	
通信会社（経営者）	・食料品や生活用品の値上がりがあり、ますます節約志向が強くなってきている。	
通信会社（営業担当）	・住宅関連も前年比で着工数が減少している状況もあり、現状ではあまり変化が望めない。	
通信会社（局長）	・現状変わる要素がないので、今後数か月は変化はない。	
遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、2～3か月先に関しても、来客数の動きは不透明な状態である。	
競輪場（職員）	・全国発売のC2レースの売上が、前年とほぼ同程度だからである。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・選挙後の反動で、例年は来客数も増えて活発に動く時期になるが、買い控えもあり、単価等も横ばいなので、変わらない。	
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・まだまだ景気の回復を感じられない。	
設計事務所（経営者）	・公共工事の受注が少なくなっている。	
設計事務所（所長）	・大した変化はないと思うが、今後はゴールデンウィークキャンペーンを実施し、受注につなげたい。今月の忙しさが今後プラスになるよう努力したい。	
住宅販売会社（従業員）	・当地域の観光ブランド低下に歯止めがかからない。長野県内の高原観光は軽井沢に集中する傾向が続く。	
住宅販売会社（経営者）	・建売住宅の安いものはちらほら売れているようだが、現在は土地の販売だけだと非常に動きが悪い。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・学校販売についてはとても良いと思うが、世間一般では、決して景気が良いという話は出てこない。小売業界においても、すべての商品の仕入価格が高くなっており、便乗値上げじゃないかと思うほど、いろいろ上がっている。運賃も同様に高くなっている。今までは必要なものは買ってきたが、少し景気が悪いので、今後必要なもの以外のものは、さらに購入しないのではないかと。
一般小売店〔精肉〕（経営者）	・統一地方選挙も終わり、プレミアム付商品券が活用されれば財布のひもも緩み、花が咲くように明るくなるような気がする。	
スーパー（統括）	・異常気象や円安による野菜や加工食品の値上がりがこの先も予想されており、実質所得が大半の家庭で増えていないことから、消費意欲の減退が予測される。	
コンビニ（店長）	・今月は平年に比べて気温の高い日が多く、イベント等の人もそれなりにあり、比較的客数は多い。先行きは、夏祭り等の人出にかかるが、例年と比べ天候の激変さえなければ、同様な経過をたどる。	
乗用車販売店（管理担当）	・省エネルギー設備導入補助金等の法人向け補助金はあるが、個人を対象とした補助金がなく、個人消費は低迷している。	

		<p>その他専門店〔燃料〕（従業員）</p> <p>都市型ホテル（営業担当）</p> <p>旅行代理店（従業員）</p> <p>タクシー運転手</p> <p>通信会社（経営者）</p> <p>美容室（経営者）</p> <p>設計事務所（所長）</p> <p>住宅販売会社（経営者）</p>	<p>・気温が高い日々が続くので、例年使用量が減少する時期になっていく。</p> <p>・3か月先まではまだ見定められないが、5月の稼働、予約の入り方を見ていると、まだ若干低く、いくつかのホテルに関しては、前年5月の稼働に比べ、低めの数値が出ているので、少し悪くなる。</p> <p>・世界情勢が不安定で、ますます物価が上がっている気がする。</p> <p>・地方では、プライベートでタクシーを利用することは少ないので、これから先も利用客が少なくなると思う。</p> <p>・LPGガス販売について、地方はアベノミクスの恩恵が届くことなく、特に変わらない。ただ明らかなのは人口が少しずつ減少しているため、右肩上がりに業績が良くなるとは思えない。</p> <p>・高齢者の固定客が少しずつ減っている。若い客を呼び、ファミリー層を取り込みたいと考えるが、なかなか客が増えず、売上が増加しない。</p> <p>・もう少し先については問い合わせも多少あるので何とも言えないが、当面2～3か月先が心配な状況である。</p> <p>・消費税増税実施が目前にならないと客の重い腰は上がらない。また、昨年の消費税増税で需要の先食いがあり、その影響も考えられる。</p>
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	<p>・これから始まるゴールデンウィーク中に売上が増えれば多少変わるかもしれないが、それが良くなければ悪くなっていく。</p>
企業 動向 関連  (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	<p>・太陽光関連の仕入先は良くないが自社発電のために当社は引き続き売上増の予想である。</p>
	やや良くなる	食料品製造業（製造担当）	<p>・全体的な販売数は減少するが、値上げをした分の回収と、特に国産品の原材料で若干の価格低下があると聞いているので、併せて経営内容は改善に向かい良くなる。</p>
		食料品製造業（営業統括）	<p>・低コストの輸入ワインから徐々に国産の中級酒への移行が見られる。また中国、東南アジアからの引き合いも徐々に増加しており、今後大幅な伸びが期待される。</p>
		一般機械器具製造業（経営者）	<p>・既存自動車部品のモデルチェンジに伴う増産依頼や、新規航空機部品の生産が軌道に乗り、安定生産に入ると見込んでいる。新しい動きが形になっていく。</p>
		輸送用機械器具製造業（経営者）	<p>・主要取引先の輸出が増加しているため、やや良くなる。</p>
		建設業（開発担当）	<p>・公共工事発注額は前年比6%増、前年は前々年比10%増、これらはアベノミクス効果である。当社も売上が前年比10%増だが、首都圏の建設ラッシュの影響で人件費、材料費が上昇しているため相変わらず利益は厳しい状況である。今後も公共工事発注増に期待している。</p>
		建設業（総務担当）	<p>・今年は県、市とも公共工事を4～9月期に前倒しで発注することになるので、状況は良くなるのではないかと。</p>
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	<p>・名刺のご開帳関連もあるが、有料ミニコミ誌の広告出稿が伸びている。小さくても数で集稿できるようになっている。</p>
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	<p>・引き合い、商談件数ともに増加傾向にあり、販売量の増加が見込める。</p>
		変わらない	<p>化学工業（経営者）</p> <p>窯業・土石製品製造業（経営者）</p> <p>窯業・土石製品製造業（総務担当）</p> <p>金属製品製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（経営者）</p> <p>電気機械器具製造業（営業担当）</p> <p>その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）</p> <p>その他製造業〔消防用品〕（営業担当）</p>

	輸送業（営業担当）	・株高等の影響も特になく、今後は夏場に向かい、夏物家電の扇風機や園芸、バーベキューなどの用品が例年並みに出る予定である。特にそれ以外の材料もないので、例年並みの輸送量となる。
	通信業（経営者）	・変わりそうな要素がない。
	金融業（調査担当）	・非製造業では内需の弱さが続くが、製造業の受注は底堅さを維持するとみられ、現状程度の業況感が続く見通しである。
	金融業（経営企画担当）	・円安が当面続くと予想されるが、一部製造業では円安影響を受けないので、変わらない。
	金融業（役員）	・ベースアップがどの程度波及し、また夏のボーナスがどの程度出るのが鍵である。
	不動産業（管理担当）	・当社で直接受注できる業務がなかなか増えず、他社を通して受注する仕事が増えている。現状と同様、利益率は低下傾向が続く。
	司法書士	・通常、近い将来良くなるという兆しは相談から始まるが、開発ものの相談が今のところないので、あまり良くない状態が続くという気がしている。
	社会保険労務士	・中小零細企業は賞与もあまり期待できず、地方の景気は相変わらずぱっとしない。
やや悪くなる	不動産業（経営者）	・景気はバブルの二の舞を演じようとしているように見える。基盤産業の弱体化は進んでいる。
	広告代理店（営業担当）	・ゴールデンウィーク以降は、数か月間にわたり消費が鈍化する。目立った販促予算も確保されてないようで、広告の引き合いが、例年通り少ない。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず仕事量の割に利益が上がらず、資金繰りが大変である。
	一般機械器具製造業（経営者）	・前月の情報どおり、4月は作業量が大幅に減少している。5月も大幅に減少予定である。6月は多少持ち直す模様だが、元には戻らないようである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現時点で、2～3か月は取引先の生産計画が激減する状況が続くそうだという情報がある。
雇用関連 (北関東)	良くなる	-
	やや良くなる	-
	人材派遣会社（経営者）	・自動車、電機等の部品加工は在庫調整、新車の追加増産などもあり、求人が結構見込まれる。消費税増税後のゴールデンウィークは、売上自体は多少上がっていくと予測を立てるが、推移は幾分厳しいと見ている。
	人材派遣会社（管理担当）	・気温が上昇し、冷やし麺類の製造派遣の増員が予定されており、やや良くなる。
	職業安定所（職員）	・医療機器関係の製造業で多数の雇用が創出される可能性がある。そのほか、食品製造でも受注増加の兆しがある。
	変わらない	-
	人材派遣会社（経営者）	・仕事量が安定しておらず、忙しくなるか暇になるかよく分からない。
	人材派遣会社（営業担当）	・観光県なので期待はしたいが、現実には観光客が予想以上に少ないうえ、新幹線の乗降客も少ないので、難しい。
	人材派遣会社（支社長）	・良くも悪くも現状維持が続く。前年同時期の引き合い数と比較すれば若干弱めで、候補者も同じく少ないため、市場の人材不足感は和らいでいると感じる。
	職業安定所（職員）	・名刺のご開帳、北陸新幹線効果が落ち着いた段階で、企業が引き続き求人募集意欲があるか現段階では不明である。
	職業安定所（職員）	・今のところ景気の変動が起きる兆しはない。
	学校〔専門学校〕（副校長）	・パート職員の応募が減少し、離職者支援の福祉関係学習希望者なども減少しているが、求職者が選り好みをしているようである。企業側も職種によっては人を選ぶことができない状況ではあるが、新卒者の人選は慎重である。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-